

# でこりぶアンケート

～どうしたら図書館利用者を増やせる？～

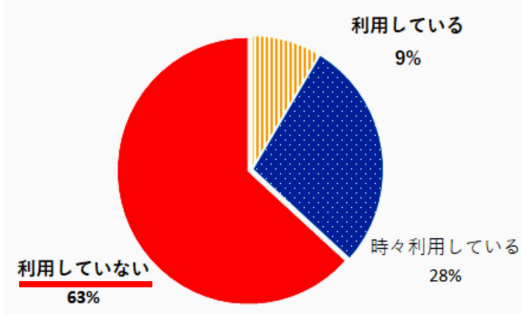
## 凸リブたより

DEKO LIBRARY LETTER

令和5年3月24日発行  
出水工業高校図書委員会

ここ一、二年ほど生徒の図書館利用数が激減しています。どうしたらみんなに図書館を利用してもらえるのか？あーでもないこーでもない、と考えていましたが、そーだ！わからないことは本人たちに聞けばいいじゃないか！とアンケートを取って意見を聞いてみました。今回はその結果と、結果をもとに図書委員で話し合った内容をお届けします！

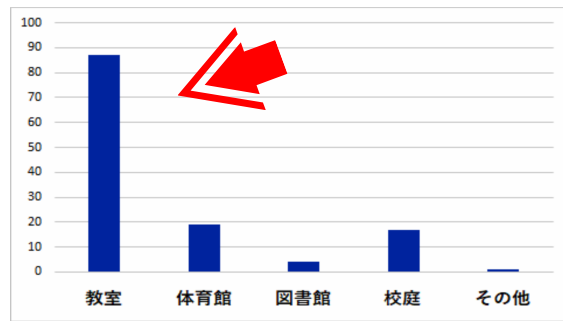
Q1..授業以外で学校図書館を利用していますか？



Q3..なぜ利用者が減っていると思いますか？

- 1位：休み時間に体を動かしたい人が多いから
- 2位：読書が好きな人が減っているから
- 3位：本に興味がないから

Q2..休みは主にどこで過ごしていますか？



Q4..どうしたら利用者が増えると思いますか？

- 1位：興味を引く本を増やす
- 2位：本に関するイベントの実施
- 3位：マンガを増やす
- 3位：生徒全員にリクエストを募る

Q5..学校図書館にあるものと思うもの、イベントなどは？

- 1位：マンガを増やしてほしい
- 1位：ボードゲーム (将棋、オセロなど)
- 3位：リクエスト制度
- 4位：クイズ大会
- 4位：映画などを観られる設備
- 4位：畳の場所 (くつろぎスペース)



### ★オススメモバトン★

機械電気科三年二組  
花田大輔さんの  
オススメモ本はこちら!!

## ソードアート・オンライン

川原礫著 (KADOKAWA)

この「ソードアート・オンライン」という作品は、ゲームでの死が現実の死につながってしまうデスゲームの中で、主人公キリトがいろいろなキャラクターと出会いながらゲームクリアを目指していく物語です。この作品は、ゲームの世界ならではのキャラクターの動きを使った爽快感のある戦闘シーンや、個性豊かなキャラクターとの出会いや、出会いの中で起きる感動的なストーリーなど多くの見どころがあります。本を読むのが苦手な方でも挿絵などがあり読みやすいと思うので、ぜひとも読んでみて下さい。

3月現在、27巻まで図書館に所蔵しています♪ →  
(書影：版元ドットコムより)

次回は、機械電気科二年中橋吹稀さんにバトンタッチ予定です

これまで、本図書館の主な利用時間は昼休みでした。その昼休みの利用が激減しているため、昼休みを過ごす場所を質問してみました。教室で過ごす生徒がおよそ三分の二となりました。予想よりも体育館と校庭で過ごす人は少ないですね。図書館はさらに少ない。

「利用者少ないよね」と普段感じていることがそのまま数値化された結果となりました。Q2..休みは主にどこで過ごしていますか？

生徒が興味を持つ本を入れたり、イベントを実施するのが有効ではないかとの声が多いようです。現時点でも本のリクエストは募集しています。ですが、リクエスト制度が存在すること知らない人がたくさんいるので、来年度は全校生徒を対象に一齐にリクエストを募集しても良いのではないかと

最後に、図書委員会としてできることを考えました。★クイズ大会などを企画する。★イベントなどで配布するしおりを作成。★リラックスできる場を提供するために館内装飾を施す。★友だちを誘って図書館へ行く。新しい学校図書館を作るため、新年度に向け、図書委員会も準備をしようと思います！みなさん、貴重なご意見ありがとうございました！

# わたしって実は・・・

## ●奈良崎先生（建築科）

私って実は、釣り好きです。休日に桜島や志布志の磯で釣りを楽しんでいます。



## ●櫻井先生（社会科）

大学生の頃、金髪ロン毛でした。

小学5年生の時、ラジオで聞いたヴァン・ヘイレンの曲に衝撃を受けてギターを弾き始め、中学3年生からバンドを始めました。ハードロックやヘヴィーメタルとよばれるジャンルのギターが大好きでしたが、そういうバンドのメンバーは大抵ロン毛だったので、大学生になったら当然ロン毛で、しかも金髪と高校生ぐらいから思っていました。

大学入学から伸ばし始め、一番長かったときは30cm以上の長さになっていました。どうだ、気持ち悪いだろう（笑）

金髪ロン毛にしてみても、世間の見る目や扱いが良くない方へ変わるということを知りました。でも、自分の中身も外見に引っ張られて変わっていたのかとも思います。外見も大事！

## ●松永先生(数学科)

高校の先生だけでなく、小学生や中学生の先生もやっています。

桜丘かけっこクラブスポーツ少年団、桜丘中学校陸上部を指導するために、小・中学校に合わせて週に3日通っています。現在、小学生50人、中学生15人が在籍しています。

高校生は大人のやりとりができる面白さがありますが、小中学生の成長の速さはまた面白く、特に小学1～3年生の純粋さや素直さ、わんぱくさにはいつも癒されています。

かけっこクラブでは、効率よく正しく走る練習はもとより、学校の遊具を使った体力作り、鬼ごっこや障害物競走などの遊び、鉄棒・跳び箱などの器械運動、ドッジボールやバスケットなどの球技を通して、様々なスポーツに通じる基礎作りをしています。

人とつながり、地域と関わり、誰かの喜びのために、やりがいをもって夢中になれるものがあるって幸せです。

# ちいさななやみ

## ●寺島先生（建築科）

「先生をフカボリ！」の原稿依頼が来て、なやんでいます。

何を書いたらいいのかな？楽しい内容を書こうと考えれば考えるほど浮かんできません。今朝、車の運転をしながら考えてみたけれど、やっぱり何も浮かばずに学校まで着いてしまいました。今日が提出日なのに・・・。

楽しい文章が書けなかったけれど、この原稿を提出して、今日も1時間20分車の運転をして帰ります。楽しい文章はむずかしいなー。

## ●日高先生（体育科）

あまり悩みを抱えるタイプではないが、強いて挙げると2つ。

1つ目は花粉症？「自分は花粉症ではない」と思いたいが、今年はどうにも目がカユい。鼻水が出る。自分もついに花粉症になってしまったのか？嫌だなあ。

2つ目は、野球人口の減少。小さな悩みではなく大きな悩みになってしまうか？これから先の高校野球や、ウチの子びみたいな野球少年が野球を楽しめる場がどんどん減っていくのでは、と考えると頭が痛い。皆さんもぜひWB Cなどからでもよいので、野球に興味をもってけると嬉しいなあ。



# 先生をフカボリ！

今回のフカボリ！は、二年生の先生方に迫ってみました。気になる先生方のプライベート、覗いてみましょう。

あみだくじ編

# オススメ本

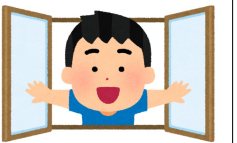
## ●高木先生（国語科） → 『すぐやる人』と『やれない人』の習慣（塚本亮著）

「課題やレポートをやると思ってたのに、面倒になってしまった」……多くの生徒が経験し、悩んでいることではないでしょうか。そんな「やれない人」がやっけてしまいがちなのは、自分を責めることです。ダメな自分を責め、自己嫌悪でますます行動できなくなるという負のループに陥ってしまうのです。

本書はその思い込みを一蹴します。やれないのは意志が弱いからではなく、やれる人になるための「習慣」を知らないからだ……。著者は「結果を出す人と結果が出せない人は、何が違うのか」を考えた末、あることに気がついたそうです。それは、成功している人は「行動が早い」ということです。スタートダッシュには「環境」が大きく作用しています。行動を起こすためには、自分の意志や感情ではなく、環境＝仕組みが大事だといいます。それがルーティン（習慣）となれば、あとは自然に「すぐやる人」になっていくのです。

「やれない人」を自負する方は、まずは本書を手にとってほしいです。そしてすぐにページを1枚めくってみましょう。これでスタートダッシュは完了、もうあなたは「すぐやる人」です。「すぐやる人」への道は決して険しいものではありません。本書を読めば、それをおわかりいただけだと思います。

春休みにぜひ一読して、新学期に備えてくださいな。



## ●橋口先生（機械電気科） → 働き方・生き方（いずれも稲盛和夫著）

なぜ人は働くのか？人はひとりでは生きていくことはできません。思いやりの気持ちが大切など、何事にも一生懸命に楽しみなさい。人間として一番大切なことがわかります。

まずは、みなさん読んでみてください。わかりやすく、文字も大きく読みやすいです。

## ●堂後先生（機械電気科） → 公孫龍（宮城谷昌光著）

中国：春秋戦国時代をテーマにした歴史小説。

漫画のキングダムと似てはいるが、また違った魅力満載な小説です。難しい漢字はありますが、ぜひ読んでください。3月現在、2巻まで発売されています。

## ●池之上先生（機械電気科） → ノンタンシリーズ（キヨノサチコ作絵）

私には小さな子供が3人います。そんな私がオススメする本は、絵本の「ノンタン」です。私は十数冊購入しました。私が購入した理由は、絵がかわいい、すぐに読み終わる、硬くて丈夫などでした。

絵本を読んでも、人との関わりを優しく教えてくれて、子供も大人も優しい気持ちになれる本です。図書館や病院など、置いている所もあると思います。たった1分で心のレストアをすることができるかもしれません。試してみてください。

## ●赤崎先生（機械電気科）

私がハマっていることは、スノーボードです。

高校を卒業して会社の同期と広島県のスキー場に初めて滑りに行き、そこから毎年行くようになりました。

真っ白なグレンデと綺麗な青空を見ながら滑る爽快感は、日頃の疲れやストレスを忘れさせてくれます。鹿児島県にはスキー場がなく、なかなか馴染みがないと思いますが、高校を卒業して旅行に行く機会があればぜひスキー場に足を運んでみてはいかがでしょうか？ちなみに私は今年大分県と広島県の2つのスキー場に行ってきました。

もう一つ、ライブ参戦にもハマっていて、好きなバンドを追いかけて九州内はもちろん大阪や名古屋などいろいろなところに飛び回っています。（最近ではコロナ禍で行けてないけど…）

ライブ映像を見ただけで感動して涙することも…(笑)

おすすめは「HumpBack」というバンドなので聴いてみてください。好きな人がいれば語り合えよう！



ハマってます！